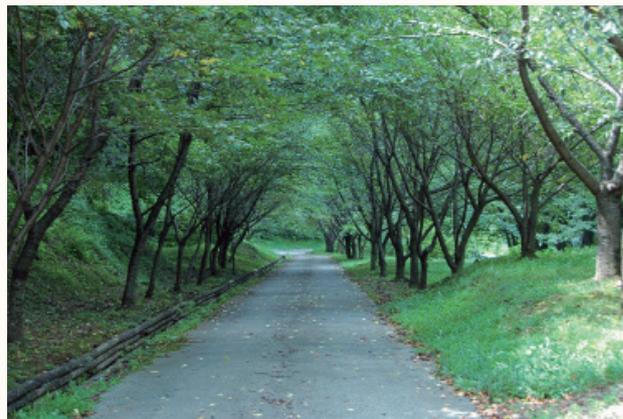




沼田市地球温暖化対策実行計画

エコの実プラン

〈概要版〉 2023-2030

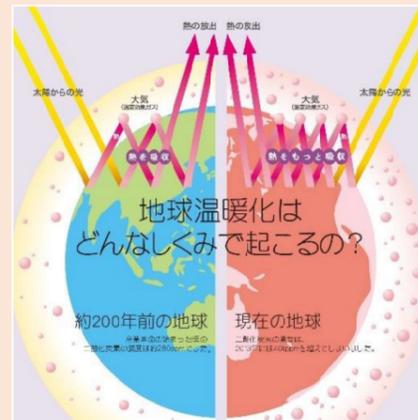


地球温暖化について

地球温暖化とは？

地球の大気には二酸化炭素などの温室効果ガスが含まれています。温室効果ガスは、赤外線を吸収して再び放出する性質があり、この性質によって地球の大気を温めます。これを**温室効果**と呼びます。

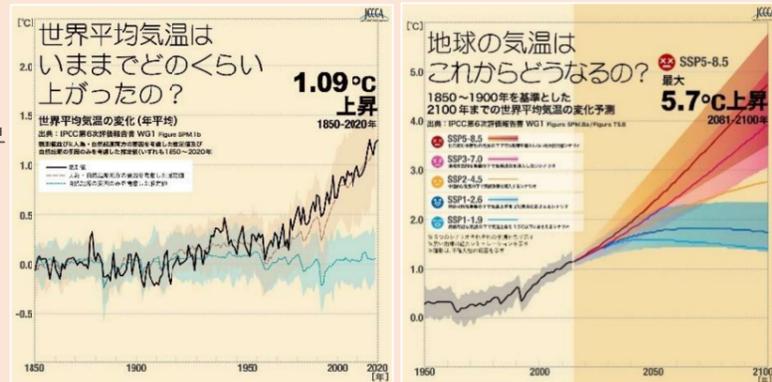
大気中の温室効果ガスが増えると温室効果が強まり、地球の表面の気温が高くなります。この現象を「**地球温暖化**」と呼びます。



(出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

地球温暖化の影響は？

世界の平均気温は、工業化前と比べて、2020年までに約1.09℃上昇しているとされています。この気温上昇は、対策をしないと2100年までに最大で5.7℃上昇するとされており、これを抑えるためには世界的な対策が不可欠であるといえます。



(出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

国や群馬県の動きは？

●2020年10月に2050年までに**カーボンニュートラル**を目指すことを宣言。

●2021年5月に「地球温暖化対策の推進に関する法律」を改正。2050年「脱炭素社会の実現」という文言を法律に明文化。2022年4月に施行。

●2021年10月に「**地球温暖化対策計画**」を閣議決定。

●2019年12月に「**2050年に向けた『ぐんま5つのゼロ』**」を宣言。

- 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」
- 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
- 宣言3 災害時の停電「ゼロ」
- 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」
- 宣言5 食品ロス「ゼロ」

●2021年3月に「**群馬県地球温暖化対策実行計画 2021-2030**」を策定。

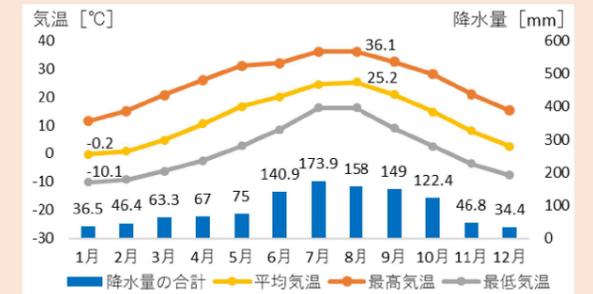
沼田市の現況

沼田市はどんなまち？

群馬県北部に位置し、山々に四方を囲まれた自然豊かなまちです。総面積は443.46平方キロメートル、人口は約45,000人です。



沼田市の気候は、寒暖差が大きいことが特徴です。年間降水量は1,110mm程度で、県内の中でも降水量が少ない地域です。



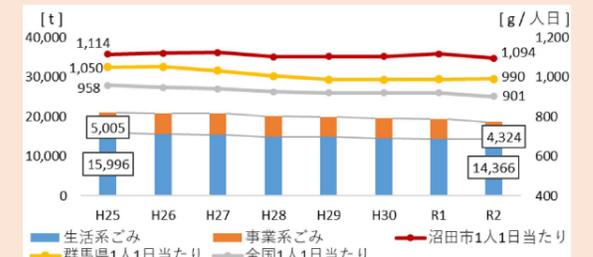
気象庁データから作成(10年間の平均値)

沼田市の総面積のうち林野面積の割合は77.4%であり、森林に恵まれた地域です。森林の所有形態では、国有林が約4分の3、民有林が約4分の1を占めています。

	林野面積	林野率
沼田市	343.08km ²	77.4%

2020年農業センサスから作成

沼田市で排出されるごみの総量は減少傾向にあります。1人1日当たりの排出量はほぼ横ばいです。群馬県と全国と比較すると高い水準にあることがわかります。



一般廃棄物処理実態調査結果(環境省)から作成

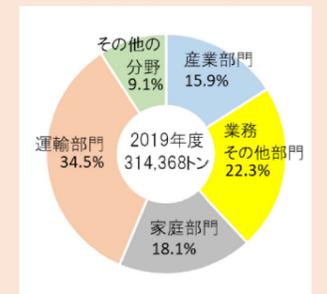
沼田市の温室効果ガス排出量は？

沼田市の温室効果ガス排出量(二酸化炭素に換算した量)は2019年度時点で314,368トンです。2013年度の排出量と比較すると、21.4%削減されています。

部門別では運輸部門の排出量の割合が最も多く、自家用車を含む車の利用の影響が大きいものと考えられます。



沼田市全域の温室効果ガス排出量の実績



部門別の温室効果ガス排出量割合

沼田市の宣言と計画について

沼田市ゼロカーボンシティ宣言

沼田市では、2022年2月22日に、2050年までに二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを旨とする「**ゼロカーボンシティ**」を宣言し、市、市民、事業者が一層連携・協働しながら地球温暖化対策に取り組んでいくこととしました。

地球温暖化対策実行計画とは？

地球温暖化対策実行計画は、市、市民、事業者が協働して地球温暖化対策に取り組むための計画で、沼田市では、2009年に初めて策定しました。この度、沼田市ゼロカーボンシティ宣言の内容を実現に向かわせることを目的に、新たな計画の策定を行いました。

事務事業編と区域施策編

地球温暖化対策実行計画には、2種類の計画があります。本計画では、これらを1つにまとめています。

	区域施策編	事務事業編
範囲	沼田市全域	沼田市役所
対象	市、市民、事業者	公共施設、公用車

計画の基準年度と目標年度

基準年度	2013年度
目標年度	中期 2030年度
	長期 2050年度

沼田市の将来像

本計画では、沼田市ゼロカーボンシティ宣言を踏まえて、以下の将来像を掲げています。

市・市民・事業者の連携・協働によって「ゼロカーボンシティ」を実現



沼田市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で干ばつや洪水等の気象災害が観測されています。我が国においても、年平均気温の上昇のほか、これまで経験したことのない豪雨によって各地で甚大な被害が発生するなど、私たちの日常生活のみならず、財産や生命までも脅かす状況となっています。

2015年に採択されたパリ協定では、「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に共有されました。2018年に公表された国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書では、「地球規模での気候変動、環境変化の深刻化を抑えるには、2050年前後までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされ、我が国も2020年10月、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。また、持続可能な開発目標（SDGs）においても、気候変動への具体的な対策等が掲げられており、これらの理念や視点に立った行動が求められています。

私たちが暮らす沼田市は、豊かな森林、清らかに澄んだ水・空気など、自然の恵みを受けつつ発展してきました。そして、平成29年12月、人と自然が真にふれあう理想のまちを目指して「森林文化都市宣言」を行いました。私たちの誇りである豊かな自然や貴重な歴史的・文化的な資源は、先人たちがたゆまぬ努力で築き上げ、守ってきた大切な財産です。気候変動のリスクを低減し、かけがえのない財産を未来につなぐため、市民や事業者の皆様と一層連携・協働しながら地球温暖化対策に取り組み、2050年までに二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和4年2月22日

沼田市長

目標と取組

計画の目標

本計画では、沼田市ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた目標として、以下の削減目標を掲げます。

	目標年度	削減目標
中期目標	2030年度	50%削減（2013年度比） 内訳（排出量削減48.5% 森林吸収量1.5%）
長期目標	2050年度	温室効果ガス排出量実質ゼロ



目標達成に向けた取組

目標の達成に向け、沼田市では3つの基本方針を掲げ、取組を推進していきます。

基本方針1	再生可能エネルギーの導入及び利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への太陽光発電システム導入 補助制度による再生可能エネルギーシステム導入支援 地域資源を活用した再生可能エネルギー発電システム等の推進 脱炭素の手法による地域課題等の解決や部署横断的な事業の創出
基本方針2	省エネルギー・省資源型ライフスタイルの定着	<ul style="list-style-type: none"> 高効率機器への切替え等、エネルギーの効率的利用の促進 次世代自動車の普及促進及びエコドライブの啓発 食品ロスの削減 ◆ 3Rの推進 ◆ 環境教育の推進 ライフスタイルの変革を促す啓発事業の実施 脱炭素の手法による地域課題等の解決や部署横断的な事業の創出
基本方針3	森林の整備・保全及び森林資源の利用推進	<ul style="list-style-type: none"> 健全な森林の整備及び保全 森林資源の利用推進 脱炭素の手法による地域課題等の解決や部署横断的な事業の創出

将来像のイメージ



市民一人ひとりができること

目標達成には市民一人ひとりの心がけが大切です。是非、日頃の取組の参考にしてください。

エアコン

- 外出する場合は直前ではなく、早めにスイッチを切る。
- 長時間使わない時はプラグを抜く。
- 2週間に1度、フィルターを掃除する。
- 室外機の吹き出し口に物を置かない。
- カーテンで窓から熱の出入りを防ぐ。
- 夏は家に帰ったらまず窓を開けて熱気を逃がしてから冷房をつける。
- タイマー機能を活用する。
- 夏の冷房の風向きは水平、冬の暖房の風向きは下向きにする。

テレビ

- テレビを見ていないときはこまめに消す。
- 長時間見ないときは主電源を消す。
- 画面の明るさ設定を下げる、または省エネルギー設定を活用する。

照明

- 白熱電球や蛍光灯をLEDに交換する。
- 使っていない部屋の照明を消す。
- 照明器具を定期的に掃除する。

洗濯機

- まとめ洗いで洗濯回数を減らす。
- 乾燥機の使用はできるだけ控える。

水回り

- 風呂の自動保温をできるだけ止める。
- シャワーを出しっぱなしにしない。
- 節水型シャワーヘッドを使用する。
- 風呂は冷めないうちに続けて入浴し、追い炊きをしない。
- 太陽熱温水器の利用を検討する。
- 洗顔や歯磨きは、洗面器やコップを使い、水を出しっぱなしにしない。

その他キッチン家電

- 炊飯器の保温は必要最低限にして、冷凍保存を活用する。
- 電気ポットの保温は控える。
- お湯を沸かすときは、給湯器のお湯から沸かす。
- 野菜の下ごしらえに電子レンジを活用する。

おうちの中には
省エネ・省資源化できる
場所がたくさん

生ごみ削減

- 食材は必要な分だけ買い、使い切る。
- 買い物前に冷蔵庫の中をチェックして買い過ぎを防止する。
- 料理は残さず食べきる。
- 食べきれぬ量だけ作る。
- 作りすぎた時は冷凍保存を活用する。
- 生ごみは水を切ってから捨てる。
- 生ごみ処理機を活用する。

冷蔵庫

- 物を詰め込みすぎない。
- 季節に合わせて設定温度を見直す。
- 冷蔵庫を壁から離して設置する。
- 熱いものは冷ましてから冷蔵庫に入れる。
- 家族の人数や買い置き量に応じて適切な容量の冷蔵庫を選ぶ。

自動車は大きな
温室効果ガス排出源
乗り方に工夫を

スマートムーブ

- 近距離移動時はマイカーの利用を控え、徒歩や自転車を利用する。
- バスや鉄道などの公共交通機関を積極的に利用する。

エコドライブ

- エコドライブ10のすすめを実践して、安全で環境にやさしい運転を。

エコドライブ10のすすめ

① 自分の燃費を把握しよう	⑥ ムダなアイドリングはやめよう
② ふんわりアクセル「eスタート」	⑦ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
③ 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転	⑧ タイヤの空気圧から始める点検・整備
④ 減速時は早めにアクセルを離そう	⑨ 不要な荷物はおろそう
⑤ エアコンの使用は適切に	⑩ 走行の妨げとなる駐車はやめよう

再エネ

- 太陽光発電システムや太陽光熱温水システムを導入する。
- バイオマス燃料や地中熱などのエネルギー資源を積極的に活用する。

省エネ機器等の導入

- 高効率給湯器など、ヒートポンプを利用した機器を活用する。
- ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)を導入する。

断熱

- カーテンは床につく長さにして、冬用のカーテンは厚手の素材にする。
- 夏はサンシェードや緑のカーテンを設置し、日差しを外で防ぐ。
- ブラインドは断熱性のあるものを活用する。
- 窓を複層ガラスや二重窓に交換する。
- 新築時には高断熱・高气密の住宅を選択する。

リフォームや新築を
検討している人は
特にチャンスです



**沼田市地球温暖化対策実行計画
エコの実プラン 2023-2030
概要版**

発行 2023年3月

〒378-8501

群馬県沼田市下之町888番地

沼田市役所市民部環境課

TEL 0278-23-2111（代表）

ホームページ <https://www.city.numata.gunma.jp>

【計画書本編掲載ページ】

